



パムとケロのおかいもの

島田ゆか 作・絵 文溪堂

シマタ

今日は月に一度のお買い物の日。犬のパムとかえるのケロは、友だちと一緒に市場へ行きました。いろいろなお店があり、欲しい物がいっぱいあって迷ってしまいます。ついたくさん買ってしまいました。さて、「そろそろ出発!」と思ったら……。

はるになったら

シャーロット・ソトウ 作 ガース・ウィリアムズ 絵
おびかゆうこ 訳 徳間書店

ウイリ

ある日、小さな女の子が小さな弟に言いました。春になったら、お花をたくさんつんできて、花束を作ってあげる。雪がいっぱい積もったら、雪だるまを作ってあげる……おませなお姉ちゃんは、弟にしてあげたいことがいっぱいです。



ピーターのとおいみち

リー=キングマン 文 バーバラ=クーニー 絵
三木卓 訳 講談社

クニ

森の中で動物たちに囲まれて暮らしているピーターは、5才になりました。小学校へ入るのももうすぐです。今から小学校へ行って友だちをつくらうと考えたピーターは、牧場をぬけ、森をぬけ、小川をまたぎ、遠い道のりを歩いて学校をめざします。

ひとまねござるときいろいろし

H.A.レイ 文・絵 光吉夏弥 訳 岩波書店

レイ

アフリカのジャングルに住むおさるのジョージは、黄色いぼうしのおじさんに連れられ、大きな町の動物園へ行くことになりました。とても知りたがりやのジョージは、行く先々で大騒動をおこします。ジョージは今、この本を読んでいる子どもの姿そのものです。



100まんびきのねこ

ワンダ・アガク ぶん・え いいももこ やく 福音館書店

カク

ねこが1匹ほしいというおばあさんの願いをかなえるため、おじいさんは長い間歩いてねこを探しに行きました。白黒の絵が、ねこの大行列をしっかりと描き込んでいます。100万匹のねこが1匹になる展開がみごとです。

ふしぎなたけのこ

松野正子 さく 瀬川康男 え 福音館書店

セカワ

むかしむかし、山おくの村に住むたろは、たけのこを取りに行きました。ぬいだ上着をたけのこにひっかけると、たけのこは急にのびました。驚いたたろがたけのこに飛びつくと、ますます天に向かってのび、たろの姿も見えなくなってしまいました。



ふしぎなナイフ

中村牧江、林健造 さく 福田隆義 え 福音館書店

フクタ

どこにでもあるナイフが、ページをめくると次々に形を変えていきます。まがる、ねじれる、とける。ちぢんで、ふくらんで……。思いがけない大変身が、ふしぎな世界を広げてくれます。

へんしんトンネル

あきやまだし 作・絵 金の星社

アキヤ

「へんしんトンネル」に入ると、出てくるときには違うものに変身してしまいます。カッパが「かっぱかっぱ」と言いながら入ると、「ばかっぱかっぱ」と馬になって出てきました。言葉を楽しむ絵本です。



ぼくはあるいたまっすぐまっすぐ

マーガレット・ワイズ・ブラウン 坪井郁美 文
林明子 絵 ベンギン社

ハヤシ

おばあちゃんとの約束は、「おうちからまっすぐ歩くこと。家があったら中をのぞいてみること」でした。おばあちゃんの家までの道のりが、ちいさな男の子にとっては大冒険!一緒に歩いてみませんか?

ぼちぼちいこか

マイク=セイラー さく ロバート=グロスマン え
いまえよしも やく 偕成社

クロス

消防士になろうと思っても、はしごを踏みぬいてしまう。秘書になろうかとタイプをたたいても、タイプライターはひしゃげてしまう。ここでちょっと一休みして、何になれるか考えてから、ぼちぼち何かを始めよう。のんびりしたカバくんのおはなしです。



ちょっとひとやすみ 7

子育てをしていて、子どものためにも、親のためにも一番良かったことは「絵本の読み聞かせをしたことでした」とおっしゃる方がいらっしゃいます。子どもが成長する過程で、親が子どもに寄り添い、お互いの表情を見ながら、気持ちの揺れを感じながら、**共通の体験**をできるのは、読み聞かせに勝るものはないでしょう。自分が親に読んでもらった絵本を、今度は自分の子どもに読んであげる……そんな世代の流れを体験できるのも、絵本の素晴らしいところです。

